

新宮山彦ぐるーぷ第2019回ー1
春季連休中の行仙宿への来宿者の対応と補修作業など

◇実施日：2019年04月28日(日) ～04月30日(火)

◇参加者：28日 川島 功、山上皓一郎、生熊敏男、山口泰宏。

29日 川島 功、山上皓一郎、生熊敏男、中前 偉、

伊藤 純。

30日 川島 功、生熊敏男、沖崎吉信、濱野兼吉、

竹中卓治、奥村順夫、湯川一郎。

参加者11名、延16名。

4月28日(日) 晴後曇り (来宿者10名・テント2張)

新宮組は、前日の平治宿大掃除の日の強風寒波とは打って変わって穏やかな晴天の下、川島車(山上・生熊)で8時に出発する。

奈良組は、山口が9時30分の集合時間に合わせ、香芝を6時に出発する。

新宮組は、国道425号線でタラの芽を高枝鋏で採集したので予定より遅れて、10時には全員が登山口集合し、モノレールに荷物を積んで行仙宿に向かった。行仙宿に10時45分到着し、行者堂に幟旗を立てる



モノレール終点で荷作り

幟旗立て

行仙岳へ小屋後の登り

山上さんには、今年は連続10日間のゴールデンウィーク中と

いうこともあり、行仙宿に立ち寄る登山客の対応と、宿内の整理整頓等をお願いし、川島・生熊・山口の3名は行仙岳北面段差の補修に向かう。行仙岳頂上には11時50頃に着き、昼食を取り12時20分に出発する。

怒田ノ宿跡に新設した看板を立てるため、既に行仙岳捲き道分岐まで上げていた看板を持参しつつ、北斜面の登山道を補修しながら下る。途中霜柱で浮いた木製段差の木杭をハンマーで再度打ち込むなど破損した段差を補修しながら進んだ。段差を止めている木杭も大半が朽ちており、来年度には抜本的な補修が必要と思われる状況である。



行仙岳山頂で昼食



北面・木製段差の補修



怒田ノ宿跡に靡看板設置

最下段近くの段差補修を生熊氏にお願いして、川島・山口が怒田ノ宿跡に到着し、持参した看板を無事に設置することができた。14時前には、行仙宿に戻り、夕食のメインである山菜の天ぷら料理(コシアブラ・タラの芽・イタドリ若芽・アシタバ等)の下準備等にかかった。



行仙宿に戻り休憩

コシアブラの下準備

山菜天ぷらを振舞う

日帰り作業の私(山口)は、山菜料理に未練を残しつつ、モノレールを登山口まで降ろすよう頼まれ、14時30分に行仙宿を後に一人で下山した。(記：山口)

15時頃に川島さんは水汲みに水場へ、早く着いた登山者には水汲を推奨した。

山上・生熊は、カマドとストーブに火を付けるが、下手くそなのか煙が出てしょうがない? 良くストーブを見ると上蓋が大きく歪んで曲がり隙間がありそこから漏れている。薪がよく燃えている時には影響ないが、一度修理してもらわないといけない。

今夜の宿泊は予約2〜3名と聞いていたが飛び込み等全部で10名(内女性3名)テント2張り(4名)となった、夕食懇談は17時半〜19時半、我々と合同で大量の山菜天ぷらは女性軍が活躍してくれた。我々3人は管理棟へ、夜中はかなり冷え込んだ。

4月29日(月) 曇り後雨 (来宿者22名、テント4張) 5時に起床し点灯。ほとんどの登山者は6時半までに出発していった。

会友の今中さんは、本日宿泊予定だったが、同行者が出来て予定より早くなつたと、6時半過ぎに立寄り玉置神社へと向われた。朝7時半の気温は8℃である。朝食後、山上さんに残っていただいて後片付けと来宿者の対応をして頂き、川島・生熊はモノレールから下の行仙宿補給路の栈木補修に8時過ぎに下ると、モノレール少し上で、日帰りの中前さんと8時半に合流し、一緒に補給路の段差・栈木補修に取り掛かる。



奥駆中の会友立寄る



行仙宿補給路の栈木取替え作業



行仙宿補給路の栈木取替え作業と完工後



前回の太補修から十数年は経っていると思うが、かなり副え木横木が痛んでいる。横木取替え39本、くい丸17本を使用して第1ベンチ迄の約6割を補修した。

本日、早いと12時過ぎには行仙宿を通過する会友の椎木・今野行者一行6名(内女性1名)を迎える為、11時に作業を切り上げ11時40分頃に行仙宿に戻り、中前さん提供の炊き込みご飯を頂いて昼食とし一行を待つ。

持経宿で宿泊なので13時半過ぎたので遅いと思う頃に、法螺の音が聞こえて来る、中前さんが法螺で応える。ようやく14時10分頃に一行(椎木敬堯・今野淳祐・平 行慶・植平普善・谷口伸二郎・玉井三紀)が行者堂に到着し全員で勤行。

コーヒーで小休止後、14時40分に持経宿へ向われた。



順峯奥駈中の会友の椎木・今野行者一行立寄り

体調不良気味の山上さんは、中前さんと15時前に下山された。今夜の準備中いつの間にか久しぶりの会友・伊藤 純君が奥駈縦走中に来られ、宿泊者応対や夕食準備に活躍してくれる。

16時半頃より来宿者に山菜天ぷらを振舞っていたが、18時夕食頃より雨がポツポツ降出し、予約14名だが来宿者が多くて、用意したテーブルで各自が食事を早く済ましてもらい、割り振りをを行う。宿泊は22名(テント4張り)となる。

川島・伊藤・生熊は、管理棟へ移り、聖護院関係の行者(所沢市の瀧田先達)と今夜ただ一人の埼玉県の女性(小笠原さん)は管理棟で寝て頂いたため、彼女も加わって五人で夕食を囲んだ。

大粒の雨となった20時寝床に付く。雨が強く玄関前の靴置き場の靴をカマド前の宿内に川島が移動する。



来宿者の夕食

管理棟で夕食

4月30日(火) 雨後昼前から曇り

昨夜からの雨は続いている。伊藤君の5時前の出発を見送り、発電機を作動させて点灯する。

昼前には雨が止みそうとの予報もあり、小雨と風は強いが宿泊者のほとんどが6時半までに小屋を出発されたが、女性の小笠原さんは雨模様で槍ヶ岳・地蔵岳の鎖場通過を思案、結局本日も行仙宿で停滞すること。我々のアルバイトだと、掃除機で宿内掃除を手伝っていただいた。又、夕食にスナック豌豆の茹で、残った天ぷらの具・玉葱サラダの調理をお願いする。

雨なので外での作業は中止で、昨夜の夕食と朝食の後片付け、燃えるゴミの焼却等行う。

10時半頃に会友・湯川さんがビール一箱担いで急遽時間が取

れたとかで上がって来られ、小休止後水汲みに行って下さる。



出発準備の来宿者



掃除機で手伝い



ビール差し入れの湯川氏

○奈良市から東大阪市に移住された方(東野様)から、昨年・一昨年と行仙宿にお世話になり、貴ぐるーぷの活動に感動し、看板と寄付(カンパ)についてお話をして熱心に聞いて頂き、難しいところのご意見を頂いたが、今年は具体的な掲示板等の見本を持参による検討依頼と活動への寄付金(一万円)を逆峯奥駈中に行仙宿迄持参され拝受しました、誠に有難うございます。

(記：生熊、写真：川島)



管理人交代者到着



休憩の来宿者



バトンタッチして下山

11時40分頃に、本日からの管理人交代の沖崎、濱野、竹中、奥村氏の4名が到着。昼食休憩を兼ねて引継ぎ打合せをして川島、生熊は、13時半頃に下山すると、小屋下で梶野氏と合流し行仙宿に戻り、川島さん撮影の写真を梶野氏のスマホに転送後、13時40分に二人は小屋を後にする。